

2023年度 冬号

Communication

通信



たまりば

◆ 発行日 2023年12月 ◆ 発行
〒211-0044 川崎市中原区新城 2-4-1
セシズイシイ2 401号室
TEL 044-789-9812

認定 NPO 法人 フリースペースたまりば

<https://www.tamariba.org>

E-mail : info@tamariba.org

かっこよすぎる ✨ 若者たち



神奈川県の不登校・ひきこもり等の青少年や家族が参加して作り上げる、フリースクール・フリースペース等によるフェスティ

バル「フリ・フリ・フェスタ 2023」が、2023年9月9日（土）に神奈川県立青少年センターにて開催されました。午前中は西やんをコーディネーターに、当事者による座談会がホールで開かれました。そして午後は「ロスエンクエントロス」でフォルクローレの演奏をおこないました。その間、ハワイエでは藍染め製品を販売したり、外で若者たちがガンガン焼きそばを焼いて販売したりしました。焼きそばを焼いて汗だくになっていたのに、フォルクローレの演奏時にはササッと T シャツを着替えて汗を拭いながら颯爽とステージに向かう姿、めちゃくちゃかっこよかったよ・・・!! 焼きそばを売り切り、フォルクローレの演奏も大盛り上がり、そして終了後の荷物の積み込み、夢パークに到着してからの片付けまでしっかりやってくれた若者たち。みんなのおかげで今年も大成功でした。

また、10月8日(日)には、世田谷区・羽根木公園で開催された、ボランティアと福祉の祭典「雑居まつり」にも参加しました。お天気心配されましたが、なんとか雨

に降られることなく、終わることができました。たまりばは、焼き鳥と、保護者の方々によるバザー、夢パーク 20th 記念 T シャツや記念ベゴマなどの物販で参加しました。今年は、フリースペースえんの若者だけでなく、ブリュッケに通う若者たちとスタッフも駆けつけてくれました。ブースの設営から焼き鳥の炭おこし、焼き、お客さんの呼び込みもガンガンやってくれて、とても楽しく盛り上がった一日となりました。ここでもまた若者たちが、夢パークに戻ってからの荷物の片付け、鉄板洗い、食器洗いなどをきっちりやってくれました。疲れているだろうに、かっこよすぎるよ君たち…。

初めて経験するイベントがあっても、経験が豊富な若者たちがいてくれるので、私自身が不安をあまり感じずに参加していけることができたこれまでだったなあと、改めて思いました。頑張ってくれているみんなのおかげで、どんなイベントも「うわ～楽しかったなあ～！」で終われる経験をさせてもらっている私です。世界中の声を集めて「みんなサイコーだよ!!!」と伝えたい。そんな気持ちの日々です。いつも本当にありがとう。これからも、

楽しい時間をできるかぎり一緒にたくさん過ごしていけたら嬉しいです。

(もぐ)



認定 NPO 法人
フリースペース
たまりば
って…?

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体(フリースペースえんを含む)の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ



これぞ横丁!

11月5日(日)、夢パのビックイベント『こどもゆめ横丁』が今年は何と史上最多49店舗、総勢164名で開催されました。笑いあり、涙あり、

時には喧嘩もありの建設、準備期間を経て、迎えた当日。どれだけ準備をしてくてもハプニングが起こるのが横丁! もはやそれが醍醐味でもあります。メンバーの体調不良で当日の朝に急遽仲間を探したり、「うわ、やべ」という声が聞こえたチームはそもそも材料を買い忘れ、なんとかアイデアで工夫し乗り切ったり、家とは異なる環境での調理で思うように火が入らず時間がかかってしまい大量の在庫を抱えることになったり、はたまた1時間足らずで商品売り切り、出店者側としてもお客さん側としても横丁を楽しむ経験値豊富な猛者チームもいたりでそれぞれにドラマがありました。来年横丁がどうなるか今から楽しみです。(いけちゃん)

かけがえのないわたしの「いのち」

川崎子どもの権利の日事業として、12月1日(金)に助産師の野口としのさんをお招きして“みんなと考えるいのちと性のこと”という講座を実施しました! 「性教育は人権教育」だと言われ、生殖に関わる身体の話だけではなく、包括的に性に関して学んでいこうという流れが大きくなってきているここ最近。いろいろな年齢の人たちが混ざり合うえんの中で何をどのように伝えるか考え、「いのちがどうやって生まれてくるのか」を中心にお話をいただきました。1時間超の講座でしたが、小学生からお兄さんお姉さんまで驚きの集中力! 自分自身のいのちが持っている強い力、その力を支え、育っていくことに関わった人が必ずいたということなどの話を聞いて、わたし自身が子どもの権利条例の土台にある、「わたしたちはそれぞれがかけがえのない価値と尊



厳を持った個人である」ということを感じる機会になりました。(はるひ)

ビュッフェ復活 クリスマス会☆

今年も12月15日(金)にえんのクリスマスパーティー&12月生まれのバースデーパーティーを開催しました。

前日の大掃除のあとはじまったパーティー準備でケーキのスポンジを焼いて、唐揚げの味付けをして一気にクリスマス気分! 会場の準備や飾り付けも子どもたちが中心となっていてがんばりました。久しぶりのビュッフェ形式が復活し、たくさん作ったお料理とケーキ、皆さまからの差し入れがテーブルにずらりと並びました。ステージではこの日のために練習してきた歌や演奏や、毎年恒例のビンゴゲームで大盛り上がり! お料理の差し入れやビンゴの景品等をいただいた皆さま、ご協力くださった皆さま、ありがとうございます。いつも来てる人も久しぶりの人も一緒に150人の参加者で美味しく楽しい時間を過ごしました!(えづれちゃん)



多世代型地域食堂“えんくる食堂”

えんくる食堂は月に3回、土曜日にオープン。助成金や寄贈品を活用し、子ども無料、大人100円です。第2週のカレーランチは予約なしで子どもだけでもOK。小中学生が4~5人で、中高生が兄弟姉妹と一緒に、ママが未就学児を連れてなど40食があつという間です。第3、4週は17:00~と18:30~の2回開催。事前予約制で1日50食限定のため、すぐに予約は一杯。御飯、おかず(メイン、サイド)汁物、デザートを季節行事や旬に合わせて献立、ブリュッकेの協力隊も加わり6~7名体制で調理しています。テイクアウトが8割以上を占めるのは、訪れてゆっくり食事をするのが難しいご家庭が少なくないからです。「持ち帰ったお弁当で会話が生まれ、笑顔が増えました」「初めて食べた料理に子どもがはまっています」等の感想に励まされています。誰でも必要としている方々が安心して利用できるよう、引き続き皆さまからのご寄付ご寄贈をお願いいたします。(菊地)



指定管理施設

『やってみよう』がいっぱいある場所です
川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<https://www.yumepark.net/>



ブリュッケだより

小さいけど大きい世界 ～ブリュッケフェス開催しました！～



11月20日(月)からの4日間、ブリュッケフェスを開催しました。昨年、初の第1回を行い、今年は2回目となったブリュッケフェス。若者たちで実行委員会を立ち上げ、話し合いを重ねながら催しを作り上げました。

1日目「なんでも発表会」。2日目「ゲーム交流会」。3日目は恒例の「西野さんと三瓶さんの知らない世界」。そして、最終日は「ブリュッケカフェ」。こだわりの珈琲、紅茶、手作りスイーツを用意し、ブリュッケが1日限定の本格カフェになりました。どれも若者たちの「やってみたい！」から生まれ実現した企画です。他にも展示コーナーにはアートや手芸などの作品が並び、今年のブリュッケ出版からは3名が自作小説やエッセイを発表しました。

みんなで考えた今年のテーマは「小さいけど大きい世界」。最近、本当に人が増えてやや窮屈になってきたブリュッケ。でも、そこに集う若者の数だけ大きな可能性で満ちています。(三瓶)



HAPPY えんブリデー

★月に一度、吉田さんのお茶講座をやっています。棗(なつめ)にたっぷり入ったお抹茶を茶杓(ちゃしゃく)ですくい、お気に入りの茶碗に二匙、お湯を注いで茶筌(ちゃせん)でしゃかしゃか混ぜて泡立て、一服のゆったりした時間を楽しんでいます。活発な子どもたちも落ち着いたお茶時間に馴染み、最近は普通のえんの中でもお茶を点ててます。(たかこ)

★小学生を中心にプレイボード(通称：プレボ)が大流行！どこに行くにもプレボで移動！最近では、プレボに詳しいえんのお姉さんと修理や改造もしています。その他『ドロケイ』『こおり鬼』も人気。12月だというのに半袖短パンで走り回る子どもたち。「寒くないの？」と聞くと、「暑いくらい！」とたくましい返答をいただきました！(のすけ)

★寒さが日増しに厳しくなる11月、その寒さを利用し平センの科学講座にて、干し柿作りを行いました。100個の柿を吊るすための紐はなんと藁(ワラ)を編んで作ります。あみあみ部隊と柿の皮むきむき部隊にわかれ、えんえんと手を動かしつつ準備は完了！天気を気にしつつ、ひと月程2階の手すりに干したら、渋みもすっかり抜けて完熟した見事な干柿の完成です！年が明けたらみんなで食べようね！(いけちゃん)

西野のつぶやき



2023年も間もなく暮れようとしている。この1年間を振り返って思うこと。ロシアによるウクライナ侵攻とアメリカに支えられたイスラエルによるガザ攻撃。戦争の多くはいつも大人の男性たちが「正義」を主張して起こされる。犠牲になるのは子どもや女性たち。23年11月現在、ガザでの死者はおおよそ11,180人。そのうち子どもが4,506人。女性が3,027人。負傷者27,490人。220万人が暮らす地域で、160万人が避難民となっている。取り囲まれ、封鎖された地区から逃げることもできない。半数の家屋が損壊し、水道が出ない、下水施設は100%の機能停止、電気も一日のうち数時間しか使えない。転がった遺体を犬が食べ、腐敗臭に包まれたまち。病院も学校も無差別に攻撃され、血だらけの子どもたちの映像が配信されてくる。まさに地獄絵図。こんな馬鹿げた攻撃をいつまで続けるのか。最大の環境破壊、人権侵害が戦争だ。これを遠い国のことと見過ごしているのだろうか。

繰り返すイスラエルの攻撃で傷ついた子どもたちを受け入れてきた児童館がある。ナワール児童館だ。ここを運営するマジダ・エルサッカさんとラシャさんが「フリースペースえん」を訪ねてきたのが、2015年6月のこと。子どもたちに安心・安全を届け、子どもたちが「参加」して、自分たちの声を上げ、運営する施設づくり。かつて長く無国籍状態に置かれていたパレスチナの若者たちのアイデンティティを育む取り組みをされてきたNGO「CFTA」のマジダさんたちが、日本講演の際間をぬって、川崎の子どもたちの遊び場・居場所づくりを見学に来てくれたのだ。物腰柔らかく、信念を持った彼女たちの笑顔をお忘れなく。ふたりは無事でいてくれるのだろうか。

私の原点の一つが、大学に進学して文化人類学を専攻した時のこと。大学に入る意味を見つけれなくて迷っていた時に、学びたいテーマは、「どうして人は戦争をやめられないのか」だったことを思い出す。どこかにヒントを見つけたくて「戦争人類学」を学ぼうと考えていた。結局入学してからは、学科自治会づくりと仕事に追われ、ほとんどこのテーマに触れないまま、学生生活が終わってしまったのは残念でもある。ただ大切なことは、子どもの頃から自分の考えを持つこと。それを誰に忖度することなく、自分の意見を表明できること。そして対話できる力を身につけること。自戒を込めて、日本で暮らす私たち大人ができていないこのことを反省しつつ、次世代の子どもたちに伝えていきたいと思う。(西野博之)



川崎若者就労・生活自立支援センター
ブリュッケ

「Brücke」は、ドイツ語で「かけ橋」。

居場所で人と人がつながり、居場所から地域へ、地域から就労へ、様々なつながりが生まれていく。

そんな人から人への「かけ橋」になっていけたら・・・。

*ブリュッケでは、川崎市内にある福祉事務所のケースワーカーと連携し、15～39歳までの若者たちの居場所・就労支援を行っています。

インフォメーション

★くわしくは事務局まで

みんなでわっしょい たまりばフェスティバル 2023 39 (サンキュー)

2024年3月9日(土)14:00~17:30(13:30 開場)
「えん」で行っている講座や自主企画など一年間を通して行ってきた、楽器演奏、創作劇、歌、ダンスなど盛りだくさんの活動発表の場です。子どもたちによる“プロジェクト X(フェスティバル実行委員会)”が精力的に準備中！一緒にフェスティバルを盛り上げませんか？
チケット：小学生 100 円、中学生から 500 円、おとな 1,300 円
協力券：1,000 円(当日+300 円で入場可能)

※チケットのお求めは「えん」まで。当日券もあります。

夢パーク 初夢！新春イベント

2024年1月7日(日)11:00~15:00(17:00 閉所)
町会の方々の力をお借りして、みんなで「もちつき」「どんど焼き」「昔遊び」に「書き初め」で楽しもう～ ※雨天決行です

☆イベント・企画の実施等の変更については、
開催日が近づきましたらホームページで
ご確認をお願いします☆

たまりばホームページ <https://www.tamariba.org>

たまりば Facebook

<https://www.facebook.com/tamaribaNPO/>

フリースペースって、どんなところ？

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所
づくりについて、画像等をまじえて「夢パーク・
フリースペースえん」の活動紹介と
質疑応答など意見交換を行ないます。

第6回 2024年2月17日(土) 10:00~12:30

対象 フリースペース(居場所)の活動や、
不登校・ひきこもりについて関心のある方
会場 川崎市子ども夢パーク内「ミーティングルーム」
参加費 500円 <要予約・各回先着順>
申込み 第6回 1月10日(水) 12:30から受付開始
※申込みの際は詳細をホームページでご確認ください。

ご支援いただきありがとうございます

(2023.9.2~12.15)

認定NPO法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。
(敬称略・順不同。希望されない方は掲載しておりません。掲載もれ等の不備がございましたら、事務局までご連絡ください。)

中村公一・勇、山本哲也・将也、内田成信、内田安信、金田陽子、福本陽子、矢崎達則、
小林謙太郎、家治寛、古泉聡洋、坂上優子、山岸充、野口由美子、松崎良子、井畑立明、長山亮子、
齋藤こえ子、小原宏一・輝子、佐藤奈緒子、五十嵐章夫、山下真也、手柴充博、鈴木みしお、
朱田貴美、吉村友紀子、山下晴子、清水彩可、村上麻登香、大堀悠、中河西忠裕、堀池雄司、
橋本峻、山田恵理子、平野知恵、遠山宗子、中村崇志、武井哲郎、矢崎芽生、林摘菜、竹内昭・太郎、
橋本誠一・碧、飯沼光津子、木崎志保、浅井輝也、奥田礼子、コンペイトウ、田老幸子、安西卷子、
新井野誠、赤野一将・香織、森田泰恵、野田岳志、山口正芳、安田靖子、今村久美、新居千文、新井琴乃、
石戸ナナ子、白石つや子、松浦えりか、畑本和彦、新妻賢一、石川共平、矢野泉、東靖士、鈴木直子、
吉井望、奥山英雄、宇井のどか、佐々木直人、岡田孝子、山下泰司、有北郁子、千葉志門、細田和恵、
国際ソロプチミスト川崎-百合 会長 福井なほみ、(株)Shri、萬福 株式会社、
川崎橘ライオンズクラブ、カ)トランスウアールドインダストリー

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です！

振込先→郵便振替口座 002002-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば
*郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

※他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は↓(支店名を「セ」で検索してください) ※

〇二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-833-7562